

## JA北びわこの



LINE  
公式アカウント

はじめました!



◇LINEアプリで左のQRコードを読み取る  
または、  
◇[@977svkrw]で友だち検索

## JA提出書類

名称	期日
令和6年産 米穀の出荷契約書(別表)	4月12日(金)
令和6年産 米穀の出荷契約書(委託販売)	
令和6年産 水田活用米穀の出荷契約面積、数量等一覧	
令和6年産 水田活用米穀の出荷契約書(委託販売)	
令和6年産 米共同乾燥調製施設利用申込書	

令和6年産米の出荷契約書について、令和6年産米播種前加算対象の契約数量上乘せ最終申込となります。

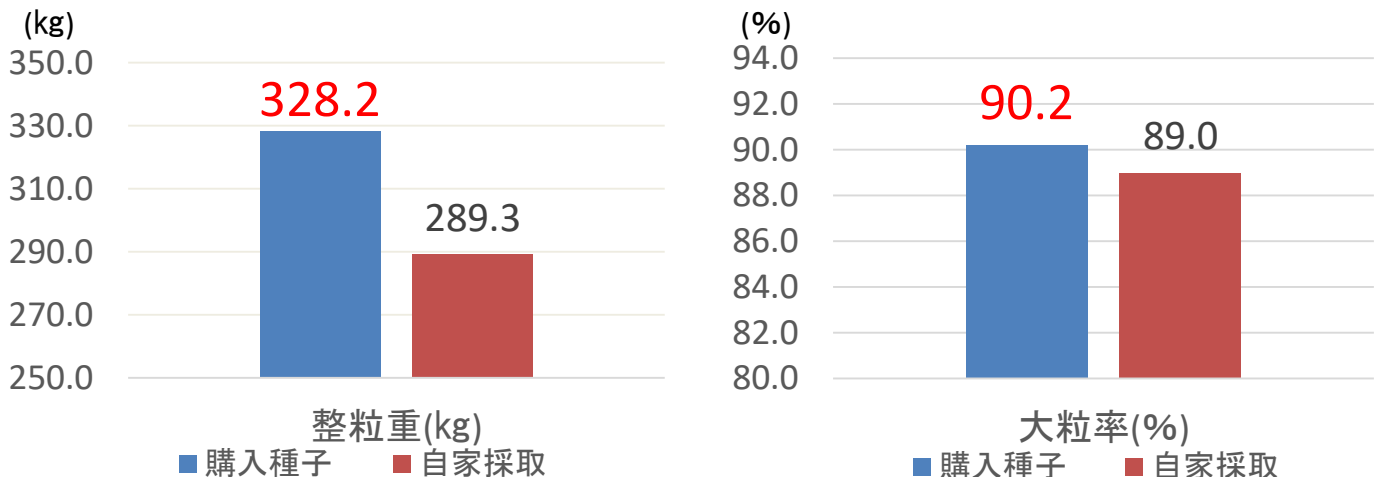
## 大豆情報(購入種子と自家種子)

資材注文書期日：4月26日(金)

種子更新の大切さは生産基準書でも記載されるとおり、自家採取を続けると、品種特性が失われ子実が小粒になりやすく品質が低下します。

JA北びわこでは令和5年度産大豆作で購入種子と自家種子(3年目)の収量・品質試験を行いました。試験結果を参考にいただき、今一度種子更新をご検討ください。

### 令和5年度 大豆 購入種子と自家種子(3年目)の坪刈試験結果(里のほほえみ)



播種日：6/22 播種量：6kg/10a 肥料：大豆専用一発S551 施肥量：20kg/10a

# 温湯消毒方法と微生物防除の併用体系防除法

## 温湯消毒法と微生物防除の併用体系防除法

あきたこまちなど極早生品種は浸種時の水温が低く微生物防除資材の効果が低下しやすいので、温湯消毒の併用をお願いします！



## 浸種作業

- 温湯消毒や微生物農薬消毒後、風乾をせずに直ちに浸種を行います。
- 浸種する水の量は種子1kgに対して水約4リットル(容量比1:2)とします。
- 水温は11°C~20°Cで行います。

水温が10°C以下の場合では、種子の発芽率や種子消毒剤の効果が著しく落ちますので、早播き時の低温期に浸種を行う場合は、冷え込み時は保温シート等をかけて浸種水温の低下を避けましょう。

- 浸種日数の目安は、7~9日間程度です。(積算温度が100°Cになるように行います。)
- 種子消毒効果を高めるため浸種開始から3日間は水を取り替えません。その後浸種終了までに酸素補給と発芽抑制物質(茶色の水)の除去のために、2~3回新しい水に更新します。

## 催芽作業

- 催芽の設定温度は30~32°Cです。
- 日数は1~2日程度を目安に行ってください。

## 催芽目安



## 注意

令和5年産種子をご購入いただいた皆様へ！  
「休眠」が深く、一斉に発芽しにくい可能性があります！

浸種の際は平均水温(11~20°C)の積算温度だけでなく、目で確認しながら作業を行っていただきますようお願いいたします。

浸種の水を替えるタイミングで上下の種籾を入れ替えると、浸種時の温度差が少なくなり催芽がそろいやすくなります。